

平成22年11月15日
交通政策審議会
第39回港湾分科会
資料 2

国際バルク戦略港湾の検討状況について

国際バルク戦略港湾について

1. 国際バルク戦略港湾政策の目的

大型船舶の活用等により、対象品目を取り扱うアジアの主要港湾と比べて遜色のない物流コスト・サービスを実現し、それにより我が国の産業や国民生活に必要な資源、エネルギー、食糧等の物資を安定的かつ安価に供給すること

2. 応募港湾

応募港湾名	港湾管理者名	応募対象品目
室蘭港	室蘭市	石炭
釧路港	釧路市	穀物
小名浜港	福島県	石炭
鹿島港	茨城県	穀物、鉄鉱石、石炭
木更津港	千葉県	鉄鉱石
清水港・田子の浦港	静岡県	穀物
名古屋港	名古屋港管理組合	穀物
水島港	岡山県	穀物
福山港	広島県	鉄鉱石
徳山下松港・宇部港	山口県	石炭
志布志港	鹿児島県	穀物

3. 選定の手順(想定スケジュール)

【平成22年】

6月 1日: 国際バルク戦略港湾 公募

8月 3日: 応募者からの計画書(目論見)締め切り

8月(19、20、27日):

応募者から提案に関するプレゼンテーションを実施

9月: 委員会から応募者(11者13港湾)あて意見送付

12月上旬: 再プレゼンテーション

平成22年末頃: 国際バルク戦略港湾の選定について
委員会意見のとりまとめ、国際バルク戦略港湾の
選定